

## 共同声明

日北米宣教フォーラムに集った、平和の神の主権を信じる私たちは、今日本で、憲法、とりわけ「第九条改正」の準備が急速に進められていることに、大きな不安と憤りを抱いています。

そもそも日本国憲法は、かつての日本がアジアを支配しようと、朝鮮や中国をはじめ近隣諸国を侵略し、二千万人とも言われる犠牲者を出し、自国をも焼け野原にした大きな後悔と反省から、「戦争放棄・戦力不保持・交戦権を認めず」という完全平和を願い、これこそ平和国家の基礎であると選び取ったものでした。

しかるに安倍晋三氏は、昨年9月に首相に就任するや、「憲法改正」を前面に出し、政府与党は、12月には「教育基本法」を改訂し、現在は憲法改訂のための「国民投票法案」の成立を急いでいます。

もし憲法第九条が改訂され、集団的自衛権が行使できるようになると、日本は、米国と共に、合法的に戦争ができる国となるのです。

私たちは、戦争できる国が「美しい国」とは到底考えられず、すべての戦争は悪であり、神の御旨ではないと考えます。

それゆえ私たちは、「憲法改正」に関するすべての動きに反対し、神の支配のもとにある真の平和を心から願うものです。

2007年3月29日

日北米宣教フォーラム出席者一同

カナダ長老教会 (Presbyterian Church in Canada)  
カナダ合同教会 (United Church of Canada)  
米国長老教会 (The Presbyterian Church (U.S.A.))  
合同メソジスト教会 (United Methodist Church)  
米国合同教会／クリスチャン・チャーチ (United  
Church of Christ (USA) and Christian Church  
(Disciples of Christ) in the USA and Canada)  
米国改革教会 (Reformed Church in America)  
日本基督教団  
在日大韓基督教会  
日本キリスト教社会事業同盟  
宣教協力学校協議会